

# 情報通信月間参加行事 報告書

行事 ID	C028	行事名	ICT東京フォーラム2020「災害×コロナをICTによってどう乗り越えるか？」
行事形式	講演及び パネル討論	主催団体	ICT東京フォーラム実行委員会
開催日	令和2年11月15日(日) 14:00～17:00	開催場所	オンライン開催 Zoomウェビナーを利用
行事参加者数	149名	WebサイトURL	<a href="https://www.uec.ac.jp/news/event/2020/20201013_2814.html">https://www.uec.ac.jp/news/event/2020/20201013_2814.html</a>

## 行事実施概要・アピール等

年々大型化する台風・集中豪雨をはじめ予知困難な地震・津波・火山噴火などの災害時には、建物の浸水・倒壊・火災やライフラインへの直接的被害に加え、住民避難・医療問題、帰宅困難などへの対応、さらに復旧における人手や物資の確保といった様々な課題と共に、新型コロナウイルスの感染によるパンデミックへの対応が当面する大きな課題となってきた。そこで、このフォーラムでは、自然災害に加えて新型コロナウイルス感染への対策を含めた非常事態にICTを活用して行政、地域、企業が連携してどう取り組むかについて講演とパネル討論が行われた。

講演に先立って、ICT東京フォーラム実行委員会奥野剛史委員長の開会挨拶、総務省関東総合通信局椿泰文局長の挨拶および調布市の長友貴樹市長による来賓挨拶が行われた。

第一部の基調講演として、サイボウズ(株)の柴田哲史氏は「災害時のICT利活用最前線」と題し、最近の主要な災害復旧の支援経験から得た効率の良いICT利活用の紹介が、青木病院の医師青木 誠氏は「災害時緊急医療救護所について」と題する災害時に開設される救護所の活動の紹介が紹介された。

第二部の3件の講演は、企業等と調布市の災害時協力協定に基づく活動についてヤフー(株)久保田紀之氏、青山学院大学古橋大地氏およびサイボウズ(株)岩下朗子氏から紹介された。

第三部のパネル討論では、5名の講演者および調布市長による「調布市×地域連携 ～災害前後にわたる地域連携を考える～」をテーマとして、地域での連携活動の在り方について活発に議論された。また、参加者からも多くの質問・意見が出され、フォーラムの所期の目的を達することができた。

当初は5月23日開催を予定したが、半年延期しオンライン開催としたが、149名の参加者を得て所期の目的を達した。

なお、当フォーラムの開催速報は、調布市民放送局にてYouTubeを利用して当分の期間放映する(下記URL)。  
<http://chofu-catch.or.jp/videos/%ef%bd%89%ef%bd%83%ef%bd%94%e6%9d%b1%e4%ba%ac%e3%83%95%e3%82%a9%e3%83%bc%e3%83%a9%e3%83%a0%ef%bc%92%ef%bc%90%ef%bc%92%ef%bc%90%ef%bc%88%e3%82%aa%e3%83%b3%e3%83%a9%e3%82%a4%e3%83%b3%e9%96%8b%e5%82%ac>

←ロアドバイス・・・セル内で改行する時はAltを押しながらEnterを押してください。

<p>○ 第一部の基調講演者</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">柴田哲史氏      青木 誠氏</p> <p>○ 第二部の講演者</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">久保田紀之氏      古橋大地氏      岩下 朗子氏</p>	<p>○ 第三部 パネル討論の登壇者</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">       </div> <p>○ Zoomウェビナーにおける関係者</p> 
--	---